

平成30年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	19	学校名	青翔中学校・青翔高等学校
----	----	-----	--------------

1. 取組名 発掘！奈良資源！！

～地域に眠る資源を見つけ、その活用方法を探る～

2. 活動内容

二上山は、奈良県と大阪府にまたがる山であり、金剛山地の北部に位置している。雄岳（517m）と雌岳（474m）の二つの山頂があり、ハイキングコースとしても親しまれている。奈良県立青翔中学校・高等学校では、2012年より二上山麓のふるさと公園周辺で、植生調査や里山の整備活動を行ってきた。近年、奈良県ではナラ枯れの被害が広がっている。奈良県の調査では、2010年に奈良市若草山でナラ枯れの被害が確認された。その後、被害地域が南下し、二上山でも2016年にナラ枯れの被害が初めて確認され、今後、被害の拡大が予想される。そこで我々は2017年から一般社団法人山遊舎と協力し、二上山におけるナラ枯れの被害状況を調査するとともに、二上山の里山整備活動を行った。

3. 成果と課題

二上山ふるさと公園内の一部地域におけるナラ枯れの実数調査を行った。その結果、ナラ枯れで枯死した個体もしくは葉が茶色になり枯死の可能性が高い個体が148個体あった。これらの個体は今後、幹や枝などが落下する可能性があり、ハイキング客に怪我をさせる可能性もある。また、里山林の荒廃につながっていく。そのため現在、生徒が調査したデータをもとに、地元団体によって、ナラ枯れ被害を受けた樹木の伐採作業が行われている。生徒はこの活動に参加し、地元の有用な資源である里山の保全に努めている。この活動により、生徒が問題意識をもって、積極的に地域が抱える課題を解決しようとする意識を育むことができた。今後は、活動に意欲的に参加する生徒を増やすと共に、地元団体との積極的な交流を行う必要がある。



4. 次年度に向けて

活動に参加し生徒には、地元が抱える問題に対し積極的に関わろうとする意欲が育まれたように感じた。地元の団体からも、生徒たちの参加により、活動に活気が生まれたという意見がだされた。今後は、このような活動をより積極的に行っていきたい。この活動を継続することで、地元の資源を有効活用し、地域の活性化につなげることが期待できる。

